

オーガズム開発の技術

セックスマスター最強の指南書

メイクラブアカデミー

はじめに	
オーガズム体質へのアプローチパート1	
その1・・・「オーガズム体質」へ導く過程で「イキやすい体質」になる	
その2・・・「オーガズム体質」を開発する7つのステップ	
その3・・・心をつなげること	
その4・・・体全体の快感レベルを出来るだけ長い時間高めること	
その5・・・子宮を適切に刺激し反応を引き出す事	
その6・・・前戯～挿入、すべてに時間をかけること	
その7・・・女性の感じる方向に進めること	
その8・・・男性のイクより女性の満足を優先させること	
その9・・・何度も繰返し同じアプローチを繰返す	
その10・・・ケーススタディ	
	その2・・・撫でるようにマッサージする。ソフトにユックリと。
	その3・・・微かな振動を与える。（重要）
	その4・・・圧を入れる
	その5・・・少し強めの上下運動
	その6・・・考え方
オーガズム体質へのアプローチパート6	
その1・・・性器周辺からの子宮（膣）への刺激（仰向けの場合）	
その2	
その3	
その4	
その5	
その6・・・ケーススタディ	
オーガズム体質へのアプローチパート7	
その1・・・子宮は後ろからでも刺激できる!	
その2	
その3	
その4	
その5	
その6	
その7・・・考え方	
その8・・・ケーススタディ	
オーガズム体質へのアプローチパート8	
その1・・・膣、ポルチオ、そして子宮を刺激する	
その2	
その3	
その4・・・考え方	
その5・・・ケーススタディ	
オーガズム体質へのアプローチパート9	
その1・・・ポルチオ（子宮頸部）を揺らし子宮を刺激する	
その2	
その3	
その4	
その5・・・ケーススタディ	

「オーガズム体質」へ導く過程で女性は「イキやすい体質」になる

「イキにくい体質」の女性を「オーガズム体質」に変えるアプローチをするとき、その途上で女性は「イキやすい体質」になる事が出来る。「イキやすい体質」とは膣の中でセックス時に1～3回程度イける体質のことだ。まだ完全に「オーガズム体質」になっていない。さらに適切なアプローチを行なうと女性は「オーガズム体質」になっていく。ここで「オーガズム体質」の特徴を確認しておこう。

- ・何回でも連続でイクことができる
- ・長い時間でもずっとイキ続けることができる
- ・快感レベルが極めて高い
- ・いろんな場所でイクことができる
- ・子宮が非常に反応しているのが分かる
- ・無呼吸を繰り返す
- ・記憶が吹っ飛ぶ
- ・意識がときどき無くなる
- ・挿入で動かなくてもイキ続ける
- ・体に触れてなくても何度でもイク



このような状態になったら「オーガズム体質」と思っていただけで良い。

1、心をつなげること

これはとても重要なポイントになる。

心をつなげるとは最低でも信頼関係が成立している状態を指す。

女性が男性を信頼してなければ体を無条件で委ねる事はできない。

心はどこかで緊張してしまいそれが体の反応を抑えてしまうことになる。

心と体は一つという理解をしっかりと持っておく事。

心が緊張や不信感があると体も緊張しオーガズムへの準備が進まなくなってしまう。

また、女性によっては体質的に心が緊張しやすい人が居る。当然、体もすぐ緊張してしまい最悪の場合は痛みまで出て来る事がある。

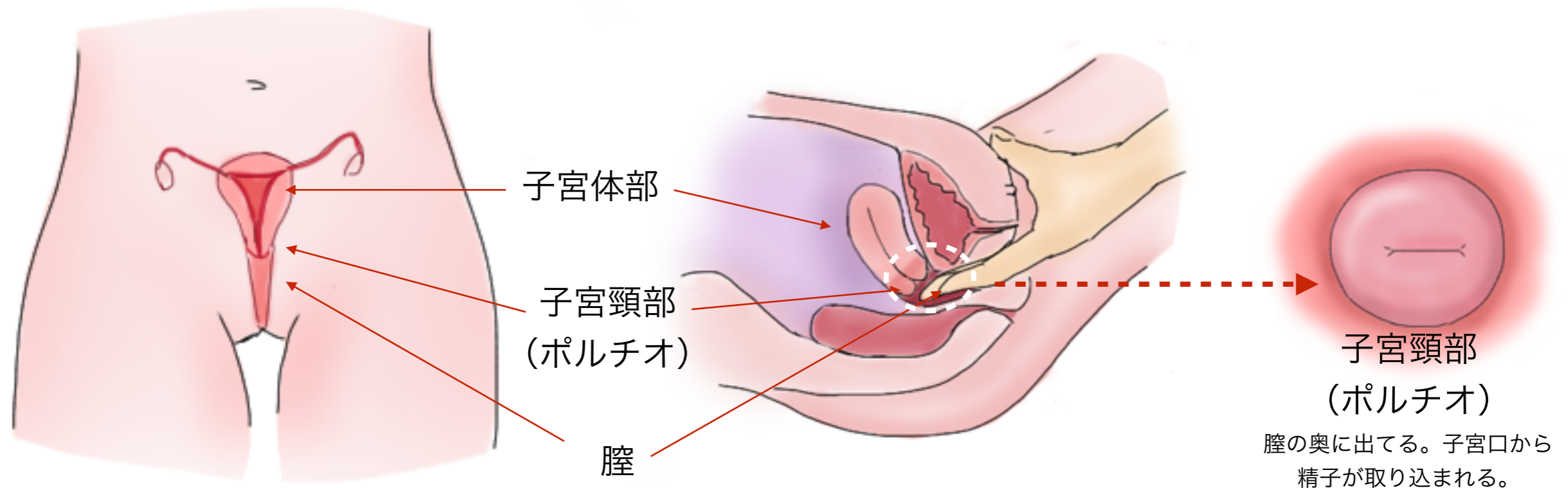
まずしなければいけないことは心をつなげることである。相手に安心感を与える事。さらには信頼関係を築くことだ。それでも本当に心がつながるには多少の時間は必要と考えた方が良い。

二人が愛し合っている状態ならまったく問題が無い。適切にアプローチしていけば時間の問題で開発は進むだろう。

愛し合っている状態でオーガズム体質になると、そのレベルも一段と高いものになっていくものである。



オーガズム開発のポイントが子宮であることを理解する！



オーガズム開発のスキルに入る前に、なぜ子宮の刺激が重要ポイントになるのか理解をしていただきたい。この理解は今後のオーガズム開発をマスターする上において重要な要素となる。

オーガズムやセックスに関する情報のほとんどは医学や生理学の根拠が極めて曖昧だ。

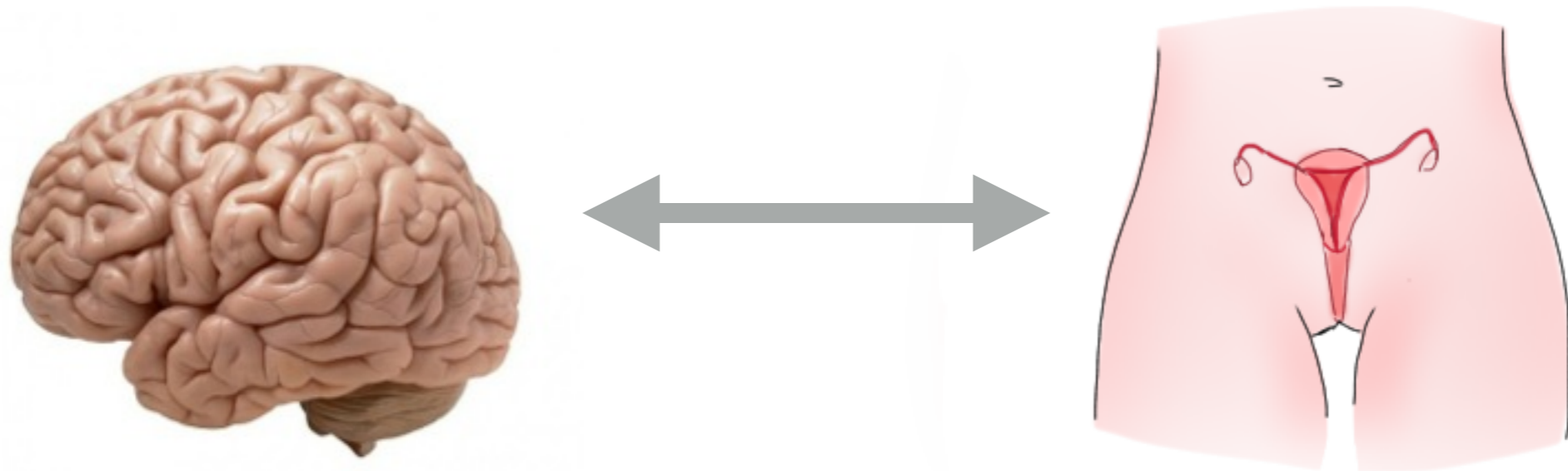
素人が専門の知識を部分的に利用している事が多いが、それが本当に正しいのかは極めて怪しい。科学的な検証による裏付けがまったくなされていないからだ。したがって、ほとんどの情報は個人の推測の域を出てないと思える。

したがって、ネットでは個人レベルで情報が氾濫しているのでいたずらに混乱しないようにして欲しい。

これから説明するのはあくまで私の経験を通しての仮説となるのでご了承ください。無理やりこじつけのような解説は意味が無いと思ってる。すべて客観的検証を通していないので、あくまでも個人的な経験から得たものと受け取って欲しい。しかしながら、結果が十分に出てるものであり、現在も個人レベルで検証し確認しているものである。科学的検証の裏付けは無いが、十分誰が行なっても結果が出るものだと思っており、仮説としてご紹介したい。

オーガズム体質の女性との会話を紹介する。

彼女の体験から子宮、ポルチオ、そして脳の関係を読み解く。



女性の名前をかりに「里美さん」とする。彼女とはもう2年近くの付き合いになる。

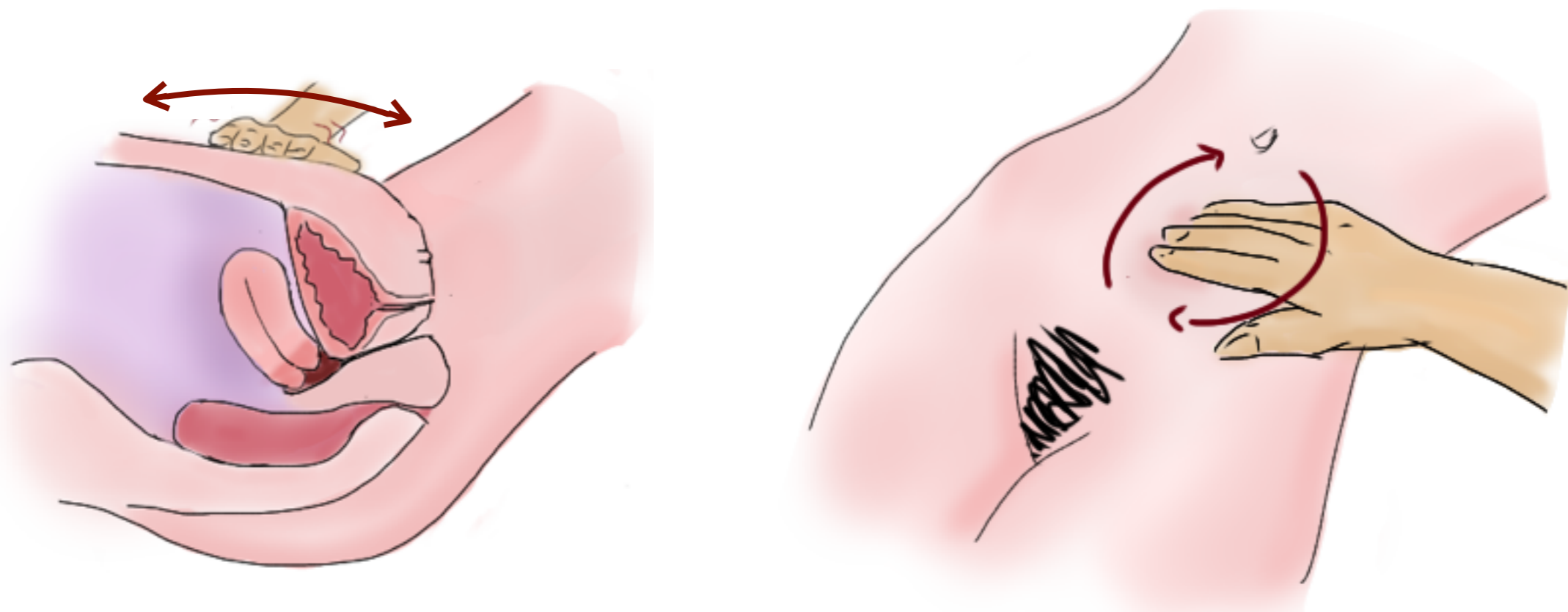
彼女の特徴は、オーガズム体質のレベルが非常に高く、また分析能力が高いので、その経験をしっかり言葉にする事ができるところにある。

今回のテーマであるオーガズムにおいての子宮とポルチオ、そして脳を中心に会話をした。

この会話の時期は最近。セックスした後に行なったので鮮明に経験を語ってもらう事ができた。女性のオーガズムは女性にしか分からないことであり、貴重な情報だと思う。

ぜひ、今後のオーガズム開発を実践する上での参考にして欲しい。

1、撫でるようにマッサージする。ソフトにユックリと。



ユックリ、まったりと撫でるようにマッサージする。タッチする場所は左図をイメージすると良い。ヘソの性器の真ん中よりやや性器より。ただ、厳密に子宮を狙う必要は無い。皮膚や筋肉や脂肪等を通して刺激が伝われば良いという感じでアプローチする。